

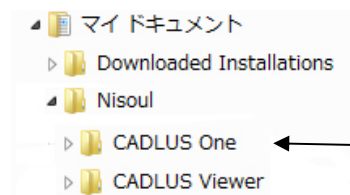
CADLUS One Ver6.0 リリースノート

【全体】

- ・インストール先フォルダと実行フォルダが変更されました。
実行時のデータフォルダはマイドキュメントの下のファイルになりますので、“管理者として実行”の必要は無くなりました。
デフォルトのインストール先フォルダは¥Program Files の下ではなく ¥Program Files¥CADLUS の下の ¥CADLUS One になります。
64 ビット OS では ¥Program Files(X86)¥CADLUS¥CADLUS One の下になります。



インストール後、最初の起動で ¥Program Files¥CADLUS¥CADLUS One の下のシステムフォルダなどがマイドキュメントの ¥NISOUL¥CADLUS One の下にコピーされ、 ¥Program Files¥CADLUS¥CADLUS One の下のデータフォルダやシステムフォルダではなく、マイドキュメントの ¥NISOUL¥CADLUS One の下データフォルダ ¥PCB やシステムフォルダ ¥SYS が参照されます。
よって、Ver6.0 では CADLUS One を実行する場合に“管理者モードで実行”する必要はありません。
インストールフォルダもデータフォルダの場所も Ver5.1.xx とは異なり、更にデータ互換もありますので、Ver6.0.xxxx と Ver5.1.xx を同じ PC 上で使用する事が出来、Ver5.1.xx をアンインストールしなければ両バージョンの CADLUS One が存在する事になります。



¥CADLUS One の中の ¥PCB、¥COMP、¥SYS などのフォルダが参照されます。
Ver5.1 の ¥PCB フォルダや ¥COMP フォルダをここにコピー（または移動）します。
事前に Ver5.1 の ¥PCB のバックアップ基板フォルダは削除してからコピーする事をお勧めします。

注意： インストール直後ではフォルダは作成されていません。最初の起動でフォルダが作成され、システムファイルなどがコピーされます。

- ・マウスの中ボタンの回転で、表示画面の拡大、縮小が出来ます。
また、中ボタンで表示画面をドラック移動が出来ます。
- ・メニューバーに「アシストツール」を追加しました。
簡単操作で、外形作成、部品コピー、ネット入力、自動ベタ発生、基板チェックなどが行えます。
部品コピーにおいては、CADLUS の標準部品ライブラリーより、IC 抵抗、コネクタなどが一度にコピー出来る様になり、ユーザー様の部品ライブラリー基板はマイドキュメントの ¥NISOUL¥CADLUS One¥PART に部品専用の基板フォルダをコピーしておきますと、CADLUS の標準部品ライブラリーと一緒に、一度に検索コピーが出来ます。

【入力・編集】

- ・「領域点移動」の領域指定方法に”多角形選択”を追加しました。

【ネット入力】

- ・ネット“P-CAD Ascii”、“KiCad”、“タンゴ”のネットフォーマットを読み込める様にしました。
- ・バンクファイル入力時に“既存のピンスワップ禁止をクリアする”の設定を追加し、端子重複のチェックを行う様にしました。
- ・バンクファイル入力のバンクファイルが”バンク、端子名”が”端子名、バンク”と列が逆の場合も読める様にしました。
- ・[入力モード設定] で”信号名の数値にゼロを付ける場合の” 信号名桁数”を” 数値部桁数”に変更しました。

【その他】

- ・使用部品の登録・更新処理の「パッド入力」で“メタル/レジストの発生”のチェックボックスを追加し、パッドを作成すると、メタルやレジストデータも作成出来る様にしました。
- ・「逆ネット抽出処理」に部品端子間の配線長リストを追加しました。
- ・基板ユーティリティの基板レポートで端子番号無しはカウントするか否かのスイッチを追加しました。
- ・「レジストからフラッシュ生成」メニューを追加しました。フィルム上でシルクカットさせる為のカットデータを作成します。
- ・マウント出力のデフォルトの出力フォルダをガーバー出力のフォルダにする様にしました。
- ・バッチ DRC 処理－「特殊」チェックの“結線ランド径(パタンが接続されているランド)の有無チェック”で長円ランドに対してご認識する不具合を修正しました。
- ・「環境設定」の画面レイアウトを変更しました。
- ・「アパーチャテーブル設定」にて [読込] ボタンを右クリックし、D コード表を読みますが、PWS から出力される帳票は加工せずに直接読み込める様にしました。

【ガーバーアウト】

- ・設定した出力先フォルダに基板名のフォルダを作成して出力する設定を追加しました。
基板単位では無く、システム単位で設定情報が保存されます。
- ・“ファイルリスト出力”を追加し、出力先フォルダにファイル名 File_List.TXT で保存されます。
基板単位では無く、システム単位で設定情報が保存されます。

【ガーバーイン】 モデルの一部ではオプションになります。

- ・“自動層割当”のチェックをオンにすると、ガーバーファイル名より自動的に論理層を割り当てる様にしました。
- ・“自動層割当”のチェックをオンにすると、一度に複数指定されたガーバー、ドリル、マウント、帳票ファイルを選別し、帳票ファイルを除外し、ガーバーイン、NC 入力、マウント入力と処理が自動起動されます。
- ・[D コード表読込]にて、図研社の PWS から出力された帳票“フォトデータリスト”は、加工せずに直接読み込める様にしました。
“自動層割当”のチェックをオンにした場合は、標準ガーバーと一緒にファイルを指定しますと、自動で読み込まれます。